

堺市歯科口腔保健推進計画（第2次）評価

【判定区分】

A（目標達成） B（改善） C（横ばい・現状維持） D（悪化）

E（数値未把握などの比較できない項目）

※「横ばい・現状維持」は、ベース値と最終評価値の差が±1%以内の数値の判定区分としています。

36の指標のうち、目標達成した項目は、妊産婦期で「歯間部清掃用具を使用する妊婦の割合」、「過去1年間に歯科検診を受けた妊婦の割合」、乳幼児期で「保護者が仕上げみがきを毎日する児の割合（3歳児健康診査）」、「フッ素塗布を受けたことのある児の割合」、「むし歯経験のない児の割合80%以上の区」、学童期・思春期で「むし歯がない者の割合（中学1年生）」、「歯科検診の結果を覚えている者の割合（小学6年生）」、成人期で「歯間部清掃用具を使用する者の割合（40歳：35歳～44歳）」の8項目になります。

改善した項目は、妊産婦期で「口腔内に心配事がない妊婦の割合」、「歯科治療が必要ない妊婦の割合」、乳幼児期で「むし歯経験のない児の割合（3歳児健康診査）」、「保護者が仕上げみがきを毎日する児の割合（1歳6か月児健康診査）」、「おやつ回数が1日2回以下の児の割合（1歳6か月児健康診査）」、学童期・思春期で「8020（ハチマルニイマル）運動を知っている者の割合（小学6年生）」、「過去1年以内に歯みがき指導を受けたことがある者の割合（小学6年生）」、成人期で「40歳で喪失歯のない者の割合（35歳～44歳）」、「過去1年間に歯科検診を受けた者の割合（20歳～64歳）」、高齢期で「60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合（55～64歳）」、「80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合（75～84歳）」、「誤嚥性肺炎予防を意識して口腔ケアを行っている者の割合（65歳以上）」の12項目になります。

一方、悪化傾向にあるものは、妊産婦期で「歯石または歯周炎を保有する妊婦の割合」、乳幼児期で「おやつ回数が1日2回以下の児の割合（3歳児健康診査）」、「2歳児の歯科相談の受診率」、学童期・思春期で「歯肉に炎症所見を有する者の割合（中学1年生）」、成人期で「40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合」、「たばこの歯周病への影響を知る者の割合」、高齢期で「60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合」、「過去1年間に歯科検診を受けた者の割合（70歳以上）」、「かかりつけ歯科医を持っている者の割合（65歳以上）」の9項目となっています。

分析要素		評価指標	中間値 (平成29年度)	目標値	最終値 (令和4年度)	評価
妊娠期	健康	口腔内に心配事がない妊婦の割合 ※1	34.0%	50%以上	41.7%	B
		歯科治療が必要ない妊婦の割合 ※1	40.0%	60%以上	44.9%	B
		歯石または歯周炎を保有する妊婦の割合 ※1	35.2%	35%以下	40.2%	D
	知識と行動	歯間部清掃用具を使用する妊婦の割合 ※1	42.2%	45%以上	51.8%	A
		たばこの歯周病への影響を知る妊婦の割合 ※1	57.8%	70%以上	56.8%	C
	環境整備	過去1年間に歯科検診を受けた妊婦の割合 ※1	49.4%	60%以上	61.0%	A
乳幼児期	健康	むし歯経験のない児の割合(1歳6か月児健康診査) ※2	99.0%	100%	99.5%	C
		むし歯経験のない児の割合(3歳児健康診査) ※3	81.9%	90%以上	89.6%	B
	知識と行動	保護者が仕上げみがきを毎日する児の割合(1歳6か月児健康診査) ※2	80.4%	90%以上	86.2%	B
		保護者が仕上げみがきを毎日する児の割合(3歳児健康診査) ※3	87.9%	90%以上	92.3%	A
		おやつ回数が1日2回以下の児の割合(1歳6か月児健康診査) ※2	79.8%	90%以上	83.2%	B
		おやつ回数が1日2回以下の児の割合(3歳児健康診査) ※3	91.9%	95%以上	90.6%	D
		フッ素塗布を受けたことのある児の割合 ※3	90.4%	95%以上	95.3%	A
	環境整備	2歳児の歯科相談の受診率 ※1	64.2%	70%以上	62.2%	D
		むし歯経験のない児の割合80%以上の区 ※3	5区	7区	7区	A
	学童期・思春期	健康	むし歯がない者の割合(中学1年生) ※5, ※4	62.1%	70%以上	82.8%
歯肉に炎症所見を有する者の割合(中学1年生) ※4			8.7%	5%以上	12.4%	D
知識と行動		歯科検診の結果を覚えている者の割合(小学6年生) ※6	63.3%	70%以上	70.0%	A
		8020(ハチマルニイマル)運動を知っている者の割合(小学6年生) ※6	17.5%	40%以上	22.0%	B
		嚙ミング30(カミングサンマル)を知っている者の割合(小学6年生) ※6	12.9%	40%以上	12.0%	C

分析要素		評価指標	中間値 (平成29年度)	目標値	最終値 (令和4年度)	評価	
	環境整備	過去1年以内に歯みがき指導を受けたことがある者の割合（小学6年生）※6	71.7%	80%以上	75.0%	B	
成人期	健康	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合 ※6	32.0%	25%以下	32.7%	C	
		40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 ※6	26.5%	20%以下	29.4%	D	
		40歳で喪失歯のない者の割合（35歳～44歳）※6	68.0%	75%以上	73.3%	B	
	知識と行動	たばこの歯周病への影響を知る者の割合 ※6	45.4%	70%以上	41.0%	D	
		歯間部清掃用具を使用する者の割合（40歳：35歳～44歳）※6	63.2%	70%以上	75.6%	A	
	環境整備	過去1年間に歯科検診を受けた者の割合（20歳～64歳）※6	61.2%	65%以上	62.4%	B	
		かかりつけ歯科医をもっている者の割合 ※7	76.2%	80%以上	集計中		
	高齢期	健康	60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合（55～64歳）※6	65.6%	80%以上	71.4%	B
80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合（75～84歳）※6			43.5%	60%以上	45.8%	B	
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 ※6			36.7%	30%以下	43.5%	D	
60歳代で何でも嚙んで食べることができる者の割合 ※6			75.2%	80%以上	76.1%	C	
知識と行動		誤嚥性肺炎予防を意識して口腔ケアを行っている者の割合（65歳以上）※6	35.6%	50%以上	37.9%	B	
		お口の体操を行ったことのある者の割合（65歳以上）※7	30.3%	50%以上	集計中		
環境整備		過去1年間に歯科検診を受けた者の割合（70歳以上）※6	75.7%	80%以上	72.9%	D	
		かかりつけ歯科医を持っている者の割合（65歳以上）※6	81.4%	90%以上	79.4%	D	
障害		障害の特性に応じた取り組みを実施しながら、歯と口の健康状態についての評価は各ライフステージに準じた指標を用います。					

資料：※1 堺市歯科口腔保健事業年報 ※2 1歳6か月児健康診査 ※3 3歳児健康診査
 ※4 一般社団法人 大阪府学校歯科医会統計情報 ※5 堺市学校定期健康診断結果統計適要
 ※6 健康づくりに関するアンケート調査 ※7 市政モニターアンケート調査